

報告事項(1)

2026年度事業活動計画及び活動予算 報告の件

物価高騰の長期化により、支援ニーズは拡大し、同時に食品寄贈や寄付の確保は一層難しくなることが予想される。こうした状況下で本年度は、①食料支援の拡充と支援の届きにくい層への情報提供、②食品確保と物流・管理の効率化、③子ども・ひとり親への伴走支援の充実、④寄付・広報・ボランティアの強化、⑤組織基盤の強化を重点方針として掲げ、地域全体で支える仕組みづくりを推進する。

さらに、食品寄付への社会的信頼を高め、食品寄付の促進につなげることを目的として消費者庁が制定した「フードバンク認証」を取得する。

1. 食料支援を通して貧困をなくす活動

物価高騰の影響で生活困窮世帯の増加が見込まれる。「一世帯1支援」を基本とし、年間延べ約12,000世帯の支援を実施する。あわせて、支援が届いていない世帯に向けた情報提供・周知を強化する。

(1) 食のセーフティーネット事業

- ・ 支援件数の増加に対応できる支援体制を整備する
- ・ 利用者に寄り添い、状況に応じた適切な支援を実施する
- ・ 連携行政との会議を実施し、支援の質向上と運用改善を検討する

(2) フードバンクこども支援プロジェクト (KSP)

- ・ 自治体と連携し、連携が十分でない地域の対象世帯への支援を進める
- ・ 長期休みを含む8月・10月・12月の年3回、食料支援を実施する
- ・ 食品の状況に合わせて追加支援を検討する
- ・ 食の支援に加えて、心の支援につながる企画を検討する（夏・冬ギフト）
- ・ 重篤な住民税非課税世帯には年4回の支援を実施する
- ・ 申請方法の周知を丁寧に行う

(3) つながるスマイルプロジェクト

- ・ 対象世帯への定期的なフードパントリーの開催（年7回）
- ・ 県内フードバンクと連携し、各団体の状況に応じた支援を実施する
- ・ 住民税が均等割の世帯も対象とし、支援の枠を拡大する

(4) 乳幼児世帯への支援

- ・ 方法を検討しつつ、対象世帯へのミルク、おむつの支援を継続実施する

-
- (5) 高校生のいる世帯への食料支援
 - ・高校51校と連携し、対象世帯への情報提供を実施する
 - ・住民税均等割の世帯も対象とし、支援の枠を拡大する
 - (6) ケアリーバー支援
 - ・山梨県きずな会と連携した支援を継続する
 - (7) 大学生支援
 - ・アンケート調査に基づき、必要に応じた食料支援を実施する
 - (8) 高齢者支援の検討
 - ・市町村の地域包括支援センターや民生委員との連携によるシステムを検討する
 - (9) 相談支援
 - ・アンケート、電話相談等を通じてニーズを把握し、必要な社会資源へつなげる
 - ・他団体との連携により、深刻なケースの相談支援に取り組み、経験を蓄積する
 - (10) 情報発信の強化
 - ・HPのリニューアルを実施し、公開する
 - ・各支援でのLINE公式アカウントの活用を強化する

2. 食品ロス削減と食品管理

食品寄贈の減少が予想されるため、新規企業の開拓や市民フードドライブの強化により、安定的な食品確保を図る

- (1) フードドライブの拡充
 - ・夏・冬のフードドライブを継続し、拡大する
 - ・職場フードドライブの協力を呼びかける
 - ・行政機関での新たな食品収集拠点の設置を呼びかける
 - ・年2回のスクールフードドライブを充実させ、スタートイベントを実施する

-
- (2) フードバンクセットの拡大
 - ・スーパー・生協と共同したフードバンクセットを継続実施する
 - ・新規企業へ呼びかけ、フードバンクセットを拡大する
 - (3) 全国フードバンク推進協議会との連携
 - ・大口食品受け入れに向けた体制整備を強化する
 - (4) 新規食品寄贈企業の開拓
 - ・県内外の企業へアプローチを強化する
 - (5) 食品管理の効率化
 - ・先進企業視察を行い、効率化を推進する
 - ・IT化を検討し、効率的な管理体制を構築する
 - (6) 冷凍・冷蔵食品の取り扱い
 - ・冷凍食品製造会社へ食品寄贈の呼びかけを行う
 - ・「フードバンクかながわ」との連携を継続する
 - ・個人・施設団体への効率的配布を実施する
 - ・先進フードバンク団体への視察を実施し、冷凍食品の取り扱いを増加させる
 - (7) 備蓄米の効率的な配布と保管
 - ・年間100トンの受入と管理を目指す
 - ・品質保持と配布効率の両立を図る
 - (8) 施設・団体への配布継続
 - ・食品の受け入れ状況に応じて配布を実施する
 - ・施設団体向けに衛生管理講習会を実施する

3. 「フードバンク未来アカデミー」の実施と充実

食料支援でつながった子どもたちやシングルマザーに対し、貧困の連鎖を断ち切るための支援メニューを充実させる

- (1) Twinkle Stars Academy（プログラミング・英会話教室）の継続と充実
 - ・新規参加者を募り、継続参加の子どもたちとあわせて2部制の体制を構築する
 - ・子ども向け体験型イベント（工場見学・遠足等）実施する
-

(2) シングルマザー対象の「Lachic（ラシク）」の充実

- ・シングルマザーの世帯を「ラシク」につなげる導線を整える
- ・学びと心を癒す場の提供（月1回程度）
- ・新たに利用者へのヒアリングを実施し、必要に応じて専門機関に繋ぐ
- ・個別相談に応じて情報提供を行う
- ・参加者拡大のイベント「わくわくフェスタ」を開催し、新規参加者を募る
- ・担当者のスキル向上を図り、支援の質を高める

(3) 学生団体による学習支援・居場所づくりのサポート

- ・体制が整わず休止となった学習支援について、他団体との連携など含め実施方法を再検討する

4. 寄付活動・広報活動

物価高騰により寄付の減少も予想されるため、個人・企業への呼びかけを強化する

(1) 寄付の呼びかけ

- ・活動と連動した寄付キャンペーンの実施（年2回）
- ・新たな企業や個人への寄付呼びかけを推進する
- ・遺贈寄付の周知を行う
- ・クレジットカード継続寄付層を拡大する
- ・HPと連動した寄付導線を整備・強化する

(2) 広報活動の強化

- ・HPのリニューアルにより、わかりやすい活動紹介を目指す
- ・SNSを活用し、支援活動の発信を強化する
- ・「フードバンクとぼく」の作品を活用した講演会の推進、および企業・団体への配布を進める

5. ボランティア参加の促進

活動の理解を広げ、継続的な参加につなげる

(1) 「ナツボラ」（8月）の実施

- ・高校生に対し、学校を通じて夏休みのボランティアを呼びかける
- ・参加動機・意識調査を実施する
- ・参加後のアンケートを実施し、改善につなげる

(2) 「サンタウィーク」(12月)の参加者の募集

- ・法人会員・行政へ冬休み支援の箱詰めボランティアの呼びかけを強化する

(3) ボランティア交流会の開催(9月)

- ・定期参加者の増加と安定的な参加につなげる

6. 組織運営強化

(1) フードバンク認証取得

- ・社会的信頼を得て食品寄贈量を増加させるためにも、早期に申請して取得する

(2) 職員の働きやすい環境整備

- ・労働環境・待遇の改善を行う
- ・定期的なフィードバック制度を導入する(個人評価・他者評価)
- ・個別懇談を実施する

(3) 人材育成

- ・オンライン研修・外部視察研修を実施する
- ・新人育成および中堅スタッフ育成の仕組みづくりを行う

7. 中核的フードバンクとしての活動推進

(1) 県内フードバンク団体への支援

- ・ノウハウ支援、必要な備品・経費の補助を行い、活動推進をサポートする

8. 緊急災害支援対応

(1) 緊急支援物資の確保と供給

- ・被災地への食料・日用品の迅速な配送体制を整備する
- ・長期保存可能な非常食の備蓄を増強し、迅速に配布できるシステムを確立する
- ・支援ニーズに応じた物資供給の最適化を図る

(2) 被災地との連携強化

- ・全国フードバンク推進協議会との連携を通じて、全国的な災害支援ネットワークと協調する

活 動 予 算 書

〔税込〕（単位：円）

認定特定非営利活動法人フードバンク山梨

自 2026年4月1日 至 2027年3月31日

科目	金額	
【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	300,000	
特別法人受取会費	28,000,000	
賛助会員受取会費	400,000	
【受取寄付金】		
受取寄付金	37,000,000	
【受取助成金等】		
受取助成金	7,000,000	
受取補助金	15,000,000	
受取委託金	9,500,000	
【その他収益】		
雑 収 益	500,000	
経常収益 計		97,700,000
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
人件費	29,000,000	
人件費計	29,000,000	
(その他経費)		
食料等購入費	11,000,000	
発送配達費	11,000,000	
業務委託費	7,000,000	
通 信 費	1,000,000	
広告宣伝費	2,000,000	
車 両 費	1,500,000	
修 繕 費	500,000	
減価償却費	9,500,000	
旅費交通費	500,000	
消耗品費	4,250,000	
印 刷 費	1,000,000	
水道光熱費	1,500,000	
地代 家賃	2,500,000	
賃 借 料	700,000	
会 議 費	50,000	
研 修 費	100,000	
保 険 料	300,000	
租税 公課	500,000	
諸 謝 金	200,000	
支払手数料	1,750,000	
諸 会 費	500,000	
(その他経費) 合計	57,350,000	
事業費 計		86,350,000
【管理費】		
(人件費)		
人件費	10,500,000	
人件費計	10,500,000	
(その他経費)		
会 議 費	50,000	
水道光熱費	250,000	
地代 家賃	500,000	
賃 借 料	50,000	
(その他経費) 合計	850,000	
管理費 計		11,350,000
経常費用 計		97,700,000